

WATCH FILE

The quality paper for people who love watches

WATCH FILE publishing house (SEEDS COMMUNICATION INC.)

150yen (including tax)

April, 2008



ウォッチ・ファイル
Vol. 30

スピーク・マリソ

SPEAKE-MARIN

Peter Speake-Marin

天然素材が紡ぎだす独特の 味わいを文字盤で表現

毎年、バーゼルワールドのアカデミーブーースで新作を展示していたスピーク・マリソだが、今年はおフェアには出展しないという。「われわれは小規模なブランドですし、必要以上に生産体制や販売網を拡大しようとは思っていません。ですから大きな見本市で発表するよりも、日本のような大事なパートナーの国に出向き、直接、顧客やメディアの方に新作を説明したい、そう思ったのです」と、スピーク・マリソ氏はバーゼル不参加を決めた理由について語ってくれた。折しもこの日は彼の40歳の誕生日。そして、彼が披露してくれた新作も、誕生日にちなんだものだった。

「誕生日を記念して、石や貝などを文字盤に採用した各6本の限定コレクションを発表

表しました。真珠貝、あわび、オニキスなど天然素材が生み出す独特の味わいを文字盤に表現したかったのです。また蒔絵とアンモナイトを使用したユニークピースも製作しました。最近ではカッティング技術も進化しており、アンモナイトのような素材も文字盤に採用することが可能になったわけです。

ひとつひとつ微妙に表情の異なる文字盤は、見る人の想像力をかき立てるに違いはない。またスピーク・マリソは現在、自社ムーブを開発。来年には搭載モデルが発表される予定だから、今後も楽しみだ。



スピーク・マリソ
蒔絵シリーズ ロリングタイガー

昨年風扇と龍をモチーフにした蒔絵モデルが発表されたが、今回はタイガーをデザインしたユニークピースが登場。加賀蒔絵職人、山崎幸舟氏が手掛けた精緻な蒔絵文字盤は、まさに芸術的な美しさだ。スピーク・マリソを象徴する個性的なシンダー型ケースを採用。自動巻き、ピンクゴールドケース、829万5000円。問い合わせ/東邦時計 ☎03-5807-8162



ユリス・ナルダン社長
ロルフ・W・シュニーダー
1935年、スイス生まれ。20
スに携わり、世界中を駆け巡る
に時計師の工場などを設立。
ナルダンを買収し、エクシリン
部作を完成させ、機械式時計
アジアの強国と脅威品の熱心な



ピーター・スピーク・マリソ氏

1968年、イギリス生まれ。ロンドンの時計技術学校を卒業後、スイスのWOSTEPに学ぶ。イギリスでアンティーク時計の修復などに携わった後、1998年、ルノー・エ・パビに入社。複雑時計の開発などに従事する。2000年に独立して時計工務を設立し、自らの名を冠したブランドを立ち上げた。

パルミジャーニ・フルリエ
カルバエミスフェール

12時位置に第2時刻を表示するサブダイヤルを記したデュアルタイム。サブダイヤルには時計針とデイ&ナイト表示を装備。さらに6時位置にはメイン時刻のデイ&ナイト表示を搭載。自動巻き（自社製キャリバーPF337）、ステンレススチールケース、シースルーバック、クロコダイルストラップ、236万8000円（予定）、4月中発売予定。問い合わせ/日本デスコ ☎03-5214-3600



ナイトスカイ (左) アンモナイトフォッシル (右)

(左) 来日した2月6日の40歳の誕生日を記念して製作された限定シリーズのうちのひとつ、8日の誕生日にちなんで6本の限定生産。彼の好きな幾何学模様をサファイアクリスタルにデザインされている。自動巻き。ブラックPVD加工のステンレススチールケース、173万2500円。(右) アンモナイトを文字盤に採用したユニークピース。自動巻き、ステンレススチールケース、173万2500円。



2つの時刻表示は個別に調整できるようになっており、デュアルタイムの操作方法も簡単だ。4時位置のリューズは日付とメイン時刻の調整および巻き上げ用。2時位置のリューズが第2時刻の調整用となっている。



内蔵する自社開発の自動巻きキャリバーPF337はローターがオフセンターに記されているのが特徴。ベーシックな自動巻きキャリバーPF337にGMT機構を加えたキャリバーPF460がベースになっている。

PARMIGIANI FLEURIER

Micheal Parmigiani

旅への憧れを呼び起こす 創造性溢れたデュアルタイム

「従来のGMTよりも一歩進んだ、実用的でファンタスティックな時計を創りたかった」

“神の手を持つ時計師”と呼ばれ、数々の歴史的名品の修復を手掛けてきたことでも知られるミッシェル・パルミジャーニ氏。彼が今年のテーマに選んだのは“旅”だった。自社ムーブメントを搭載した新作カルバエミスフェールは、30分や45分といった細かい時差にも対応できるように分単位での時間調整を可能にしたデュアルタイムだ。「世界中の海に挑戦している、ベルナル・スタムというヨットマンがいます。彼の冒険にインスピレーションを受けて創作したのが今回のGMTの新作です。常に本物を

追求し、最高のパフォーマンスを発揮する。このパルミジャーニ・フルリエの理念と、世界を股に掛けた本物の海の男であるベルナルとは共鳴しあう部分が多い、と感じたわけです。私は時計を作る時に最も心掛けているのが“ハーモニーを保つ”ということです。優れたメカニズムであっても外見的美しければ意味がない。技術とエスティテックスがバランス良く調和して初めて、持つ人が満足できる時計になると思っています。ディテールの随所にパルミジャーニ・スタイルを受け継ぐこの新作も、心地よいハーモニーを奏でることができたのではないかと自負しています」



パルミジャーニ・フルリエ

パルミジャーニ・フルリエ社長

ミッシェル・パルミジャーニ氏

1950年、スイス生まれ。1975年に時計修理やムーブメント開発などを行う会社を設立。フレグのシンパシークロックをはじめとする歴史的な名品を数多く蘇らせ、「神の手を持つ時計師」として世界的に高い評価を得る。1996年、故郷でもあるフルリエ/パルミジャーニ・フルリエを創立。1997年にSHHでデビューした。

年
“よ
—
週
—
スイス
映画も
ご予約